

令和4年度 自主防災会に関するアンケート集計結果

目次

1. アンケートの概要
2. アンケートの結果
 - (1) 自主防災会の現状について
 - (2) 地域防災力強化推進補助金の活用について
 - (3) 避難所運営の取り組みについて
 - (4) 自主防災会（自治会）における避難行動要支援者への避難支援の実施に伴う支援方法の書面化について

令和5年9月

津市 危機管理部 防災室・各総合支所 地域振興課

1. アンケートの概要

○ アンケートの目的

自主防災会における活動状況とその課題を改めて把握することで、今後の地域防災力の向上に役立てる。

○ アンケートの対象

本市に結成届及び規約を提出している自主防災会 699組織

○ アンケートの方法

郵送にて各自主防災会の会長に送付及び回答依頼

FAX、電子メール、郵送、市関係機関への持参のいずれかの方法で回収

○ アンケート期間

令和5年2月24日（金）から令和5年3月24日（金）まで

○ アンケート配布数及び回収数

対象地域	配布数	回収数	回収率
津全域	699	505	72.2%
津	309	215	69.6%
久居	118	81	68.6%
河芸	25	20	80%
芸濃	52	31	59.6%
美里	16	15	93.8%
安濃	48	38	79.2%
香良洲	9	9	100%
一志	49	37	75.5%
白山	66	52	78.8%
美杉	7	7	100%

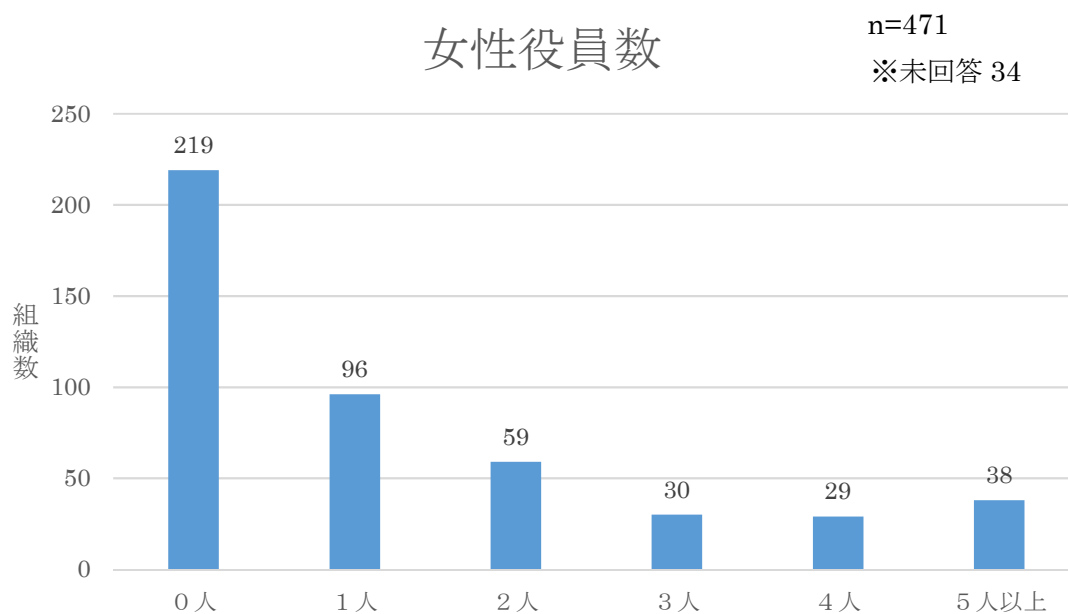
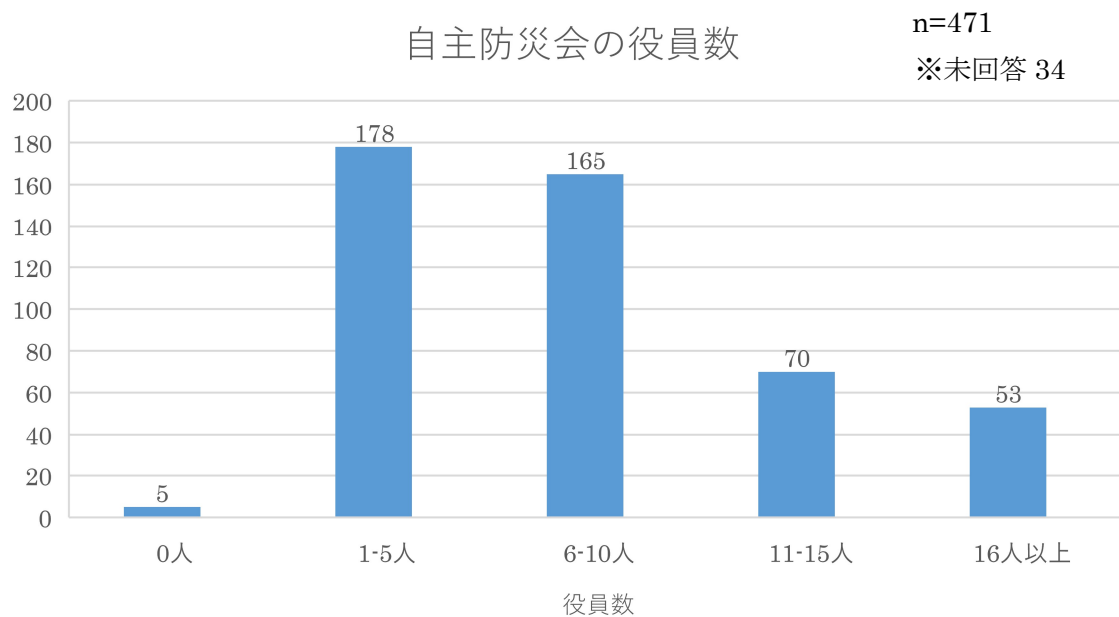
○注意事項

- ・ 各設問は無回答を含めて集計している。
- ・ 図表中の構成比率は、小数点第2位以下を切り捨てしている。
- ・ 図表中の「n」（Number of samplesの略）は、設問に対する回答者の総数を示しており、回答者の構成比（%）を算出するための基数である。

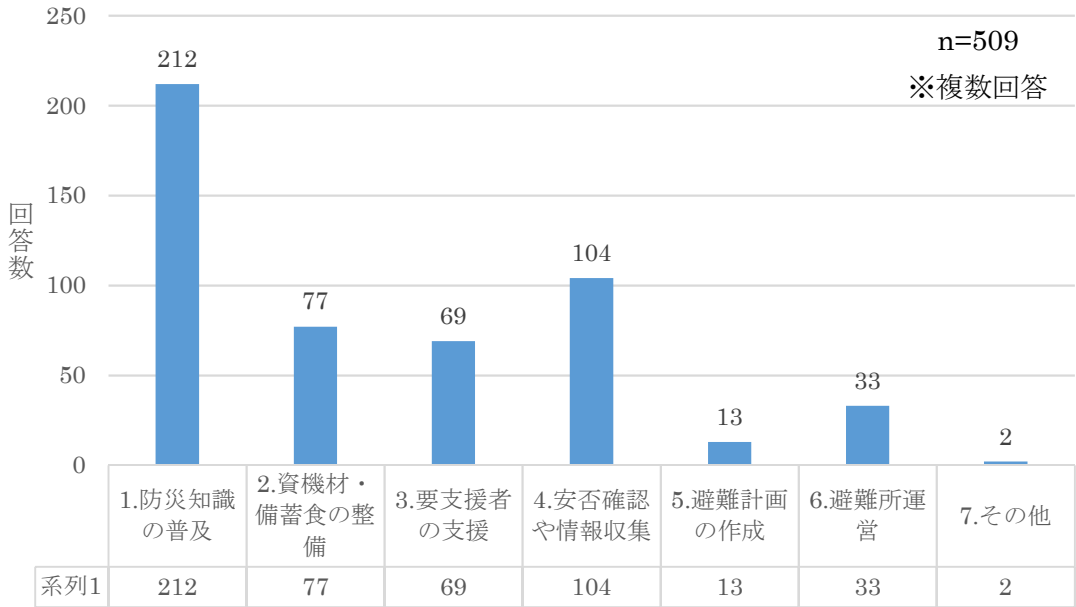
2. アンケートの結果

1 自主防災会の現状について

(1) 貴防災会の役員数を記入してください。



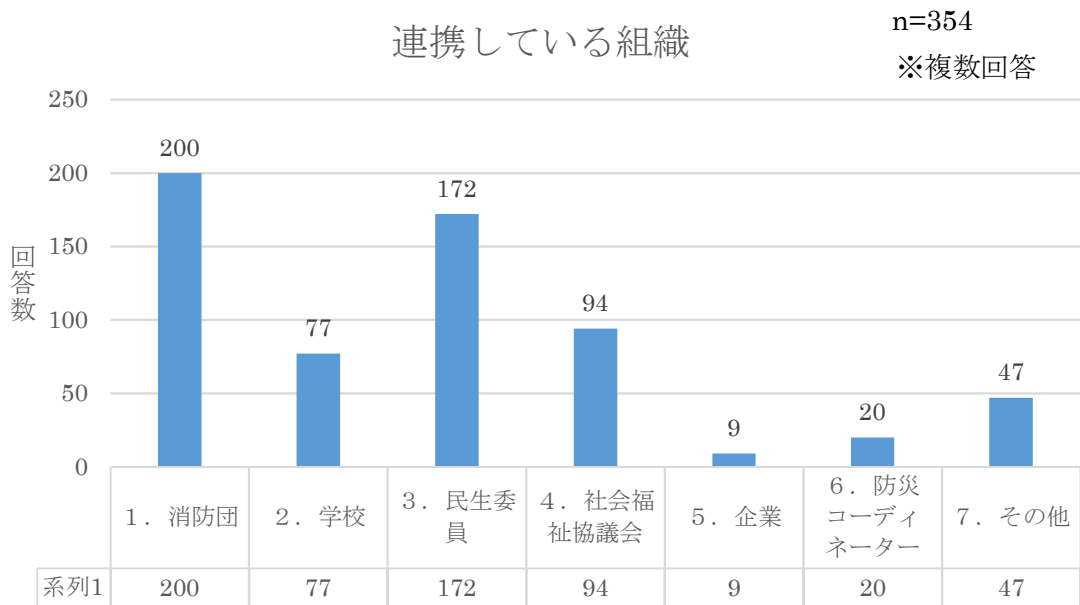
(2) 貴自主防災会の役割として最も重要だと思う取り組みを1つ教えてください。(該当するものを1つ選択してください)



〈その他〉 ※その他については、一部抜粋して掲載しています。

- ・ 会員の意識を高める。
- ・ 要支援者の隣近所の若い人に災害時の際は避難の手助けをお願いしている。

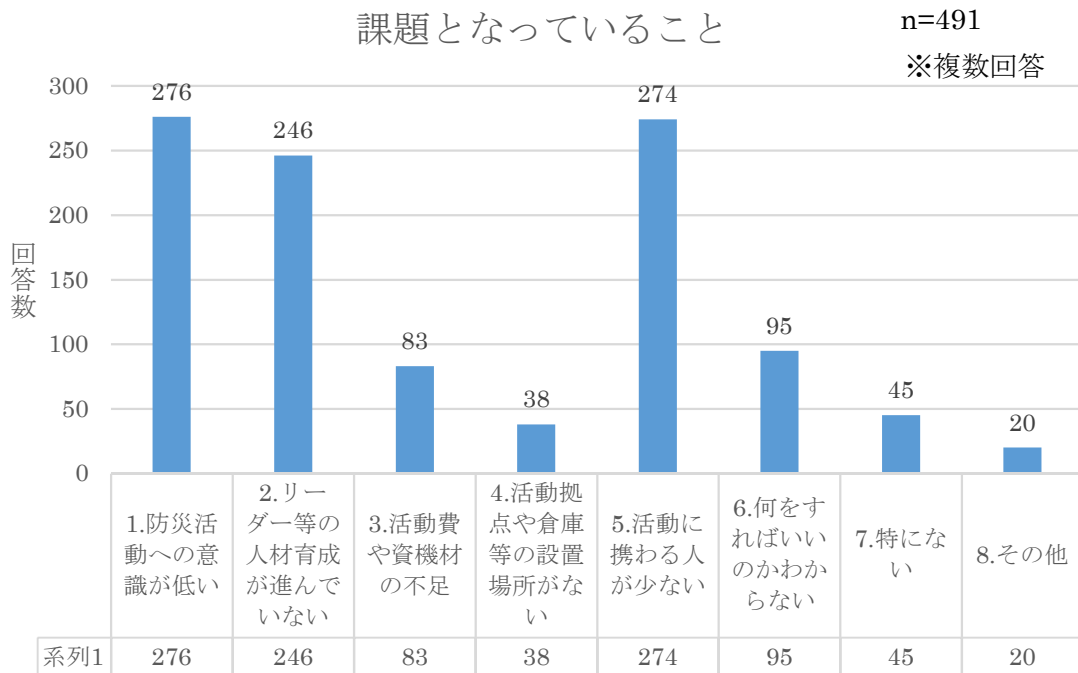
(3) 貴自主防災会が連携している組織があればお教えてください。(該当するものを全て選択してください。)



〈その他〉 ※その他については、一部抜粋して掲載しています。

- ・ 自治会
- ・ 連合会
- ・ 地区社会福祉協議会、地区自主防災協議会
- ・ 隣接自主防災会
- ・ 福祉施設
- ・ 社会福祉法人
- ・ 婦人会
- ・ 子供会
- ・ 農家組合
- ・ 市議会議員
- ・ 公民館
- ・ 消防署
- ・ お寺

(4) 現在、貴自主防災会で特に課題となっていることを教えてください。
(該当するものを全て選択してください)



〈その他〉 ※その他については、一部抜粋して掲載しています。

- ・ 年間を通じ、一度も会議等の招集がありません。
- ・ 役員の高齢化
- ・ 役員が毎年代わる。引き継いでない。
- ・ 参加したくても時間がない
- ・ コロナで3年間何も行事をしていない
- ・ 要支援者の支援
- ・ 医療関係、警察関係が多く発災後帰ってこないと考えられる
- ・ 避難所の共有、連絡網の実効性。コロナで3年間訓練ができていない、災害時の共助・支援の実効性を行う余裕があるのか
- ・ 若い世帯も多く皆さん忙しいため活動自体の参加が難しい
- ・ 安全で広い避難所
- ・ 地区内でのコミュニケーションがなくなっている
- ・ 自治会内住民の把握
- ・ 世帯人数が不明

○課題

自主防災会として重要な取組であるとされているのが、「防災知識の普及」であり、課題として多くあげられているのが「地域住民の防災意識が低い」・「活動に携わる人が少ない」・「リーダー人材育成が進んでいない」となりました。自主防災会として、防災活動を行う必要性は感じているが、活動に移すためのマンパワーが足りていない状態が考えられます。

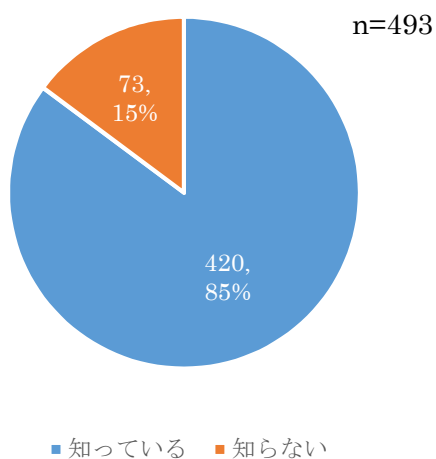
○検討

広報や津市自主防災協議会を通じて、市やその他関係機関が実施している防災啓発活動の周知を行い、防災研修会や訓練を通じて、地域の防災リーダー育成のサポート、防災意識の向上、防災活動の促進につなげる。

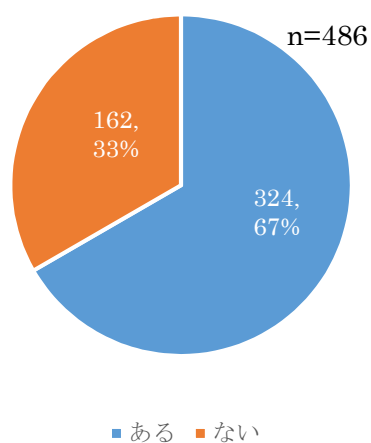
2 地域防災力強化推進補助金の活用について

津市では、地域の防災力の向上を目的として、自主防災会や自主防災会を結成している自治会に対し、防災資機材や防災活動（研修会・訓練）費用の補助を行っています。

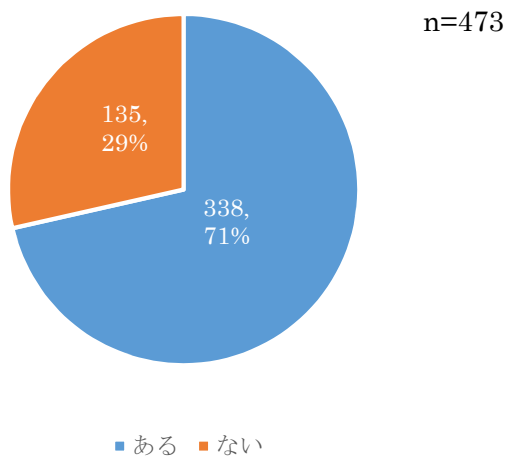
(1) 補助金制度の存在を知っていますか。



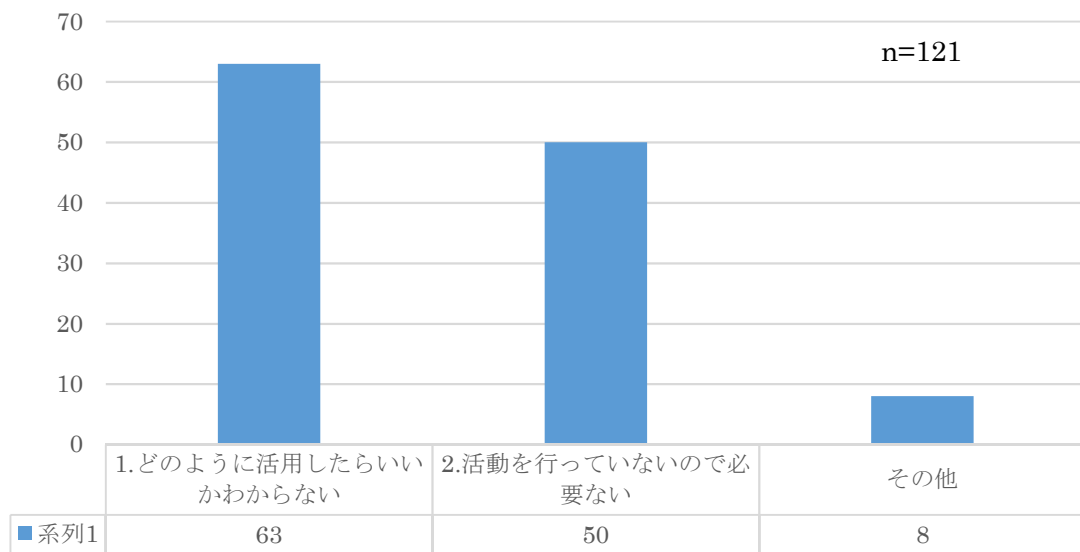
(2) 過去に補助金を活用したことはありますか。



(3) 今後活用する予定はありますか。



(4) (3)で「2.ない」と回答した理由を教えてください。



〈その他〉※その他については、一部抜粋して掲載しています。

- ・ 昨年度までの申請で一区切りついた。
- ・ コロナの関係で、まだそこまで話が進んでいない。
- ・ 土曜、日曜の仕事があるため日程的にできない。
- ・ 防災活動を行っても人が集まらない。
- ・ 倉庫が一杯。普及啓発の機会がない。
- ・ 毎年自治会長が代わるので活用していない
- ・ 現在は無いが今後、資材の老朽化により検討する。
- ・ 役員に活動を勧める余裕がない。自分の仕事で精一杯。
- ・ 防災にかかる資機材は足りている。
- ・ 予算がない

○課題

アンケート回答団体の内、全体の約3割の団体が申請を行ったことが無く、申請を行ったことが無い団体中の約4割が補助金の活用方法がわからないとのことであった。また、過去の補助金の活用有無の自主防災会数と今後活用を行う予定の自主防災会数数が同程度の数字であることから、毎年申請する団体が限られていると考えられる。

○検討

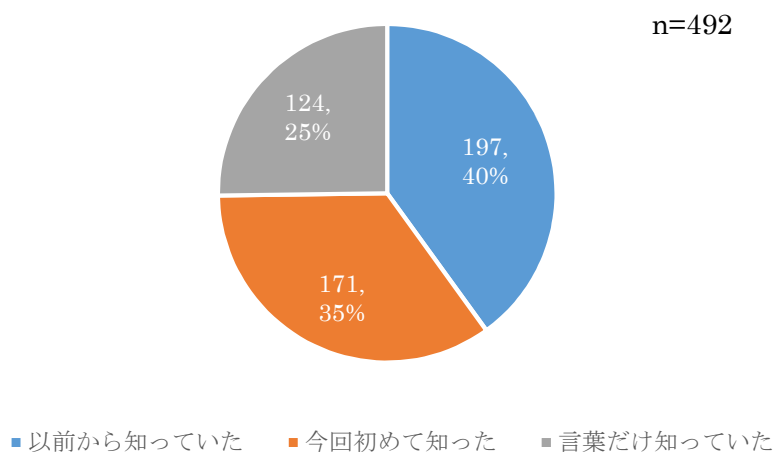
地域の防災学習会や補助金の説明会で、自主防災会における地域防災の重要性と補助金の内容について説明を行うことで、補助金を活用した防災活動の推進を図る。

3 避難所運営の取り組みについて

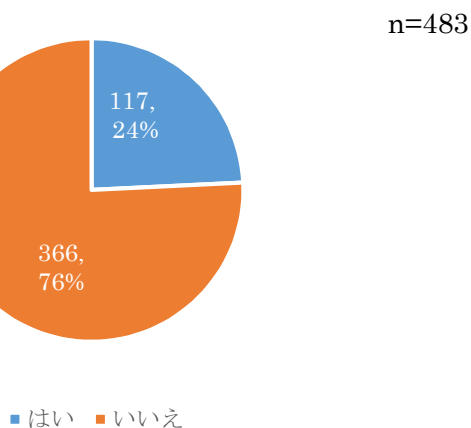
(1) 大規模災害発生時（南海トラフ地震等）には、行政職員の避難所への到着が遅れたり、職員自身が被災してしまうこともあります。

このため、避難所の開設・運営のために、地域住民が主体となって避難所運営委員会を設置いただくことが重要となりますが、避難所運営委員会の組織構成、役割等を知っていますか。

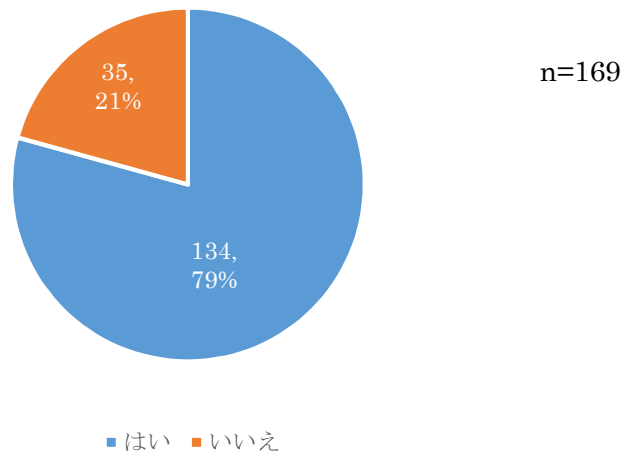
※避難所運営委員会とは、避難所の運営を自主的に協議し、決定するために、自主防災組織、行政担当者、施設管理者等で構成する組織です（災害時だけでなく平常時から組織することで避難所運営が円滑に行えます）。



(2) 貴自主防災会では、避難所運営委員会を組織していますか（参画していますか）。



(3) 貴自主防災会が組織する(参画する)避難所運営委員会のうち指定避難所を設置場所としたものはありますか。



「いいえ」を選択した場合の、その他の設置場所

- ・ 一時避難場所
- ・ 集会所
- ・ お寺

(4) (3)で「1. はい」と回答した方にお聞きします。避難所運営委員会を設置している指定避難所名を下表から選択し、該当するものを全て選択してください。(避難所運営委員会が組織されている指定避難所名と、指定避難所で避難所運営委員会を組織していると回答があった自主防災会数を表記します。)

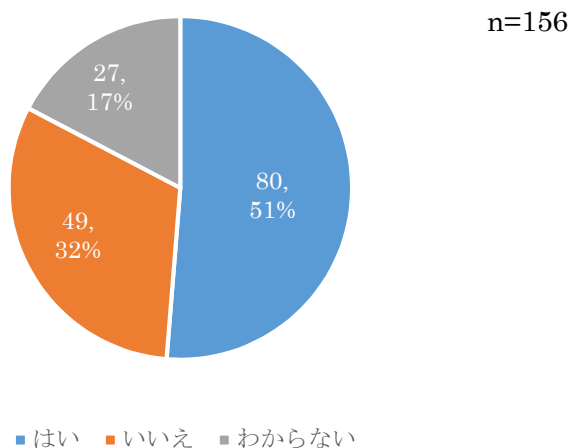
指定避難所	自主防災会数	指定避難所	自主防災会数
豊が丘小学校	4	久居総合福祉会館	3
高野尾出張所	1	戸木小学校	1
高野尾小学校	2	河芸公民館	3
大里出張所	4	河芸体育館	2
大里小学校	1	朝陽中学校	2
豊里中学校	0	豊津小学校	0
高田短期大学	0	上野小学校	3
高田中・高等学校	1	黒田小学校	2
一身田中学校	0	千里ヶ丘小学校	5

一身田公民館（一身田出張所）	0	芸濃小学校	1
一身田小学校	1	芸濃総合文化センター	1
三重短期大学	0	芸濃中学校	1
三重県総合文化センター	5	明小学校	3
白塚小学校	3	（旧）安西小学校	0
志登茂川浄化センター	2	（旧）雲林院小学校	1
栗真小学校	2	錫杖湖水荘	0
町屋会館	3	美里社会福祉センター	3
三重県立国児学園	2	（旧）長野小学校	3
北立誠小学校	0	（旧）高宮小学校	1
アストプラザ	4	（旧）辰水小学校	5
橋北中学校	4	みさとの丘学園	3
南立誠小学校	6	草生小学校	0
観音寺保育園	2	草生公民館	0
三重大学教育学部附属小学校	1	村主小学校	1
西が丘小学校	2	村主公民館	1
安東小学校	2	安濃小学校	0
安東出張所	0	安濃公民館	0
中勢用水中央管理事務所	0	明合小学校	0
橿形市民館	0	明合公民館	0
橿形出張所	0	東観中学校	0
橿形小学校	0	安濃中央総合公園内 体育館	0
西郊中学校	0	安濃交流会館	0
片田小学校	5	サンヒルズ安濃	0
片田出張所	1	香良洲小学校	0
津市西部市民センター	2	香海中学校	0
神戸小学校	2	香良洲公民館	0
津市青少年野外活動センター	0	香良洲歴史資料館（若桜 会館）	0
新町小学校	0	まつぼっくり作業所	0
西橋内中学校	1	香良洲体育館	0
養正小学校	4	サンデルタ香良洲	0
中央市民館	0	（旧）大井小学校	1

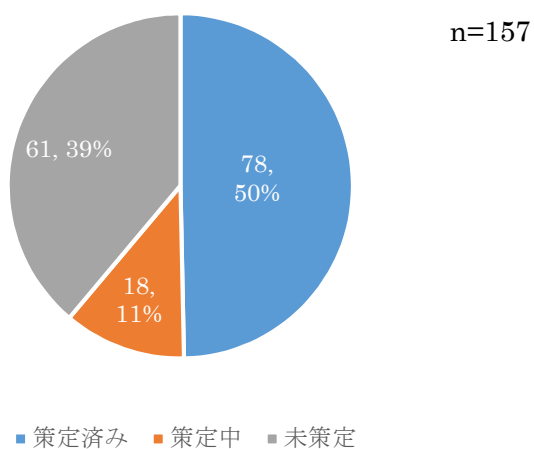
贅崎地区防災コミュニティセンター	2	一志東小学校	0
高洲町教育集会所	1	一志西小学校	0
さくら児童館	1	(旧)波瀬小学校	1
東橋内中学校	2	一志中学校	0
敬和小学校	2	大井公民館	1
敬和公民館	4	コミュニティプラザ川合 (川合公民館)	0
修成小学校	4	一志高岡公民館	1
学校法人セントヨゼフ女子学園 (第一体育館・第二体育館)	9	波瀬ふれあい会館	3
三重県立津工業高等学校	2	とことめの里一志	1
津南防災コミュニティセンター	0	一志体育館	0
阿漕塚記念館	0	家城小学校	0
三重県立みえ夢学園高等学校	0	家城公民館	0
育生小学校	3	元取公民館	0
橋南中学校	1	大三小学校	0
三重県立聾学校	1	大三公民館	0
藤水小学校	2	白山中学校	0
藤水出張所	1	白山公民館	0
南が丘小学校	8	川口小学校	0
南が丘中学校	7	倭小学校	1
南が丘会館	3	倭公民館	0
南郊公民館(高茶屋出張所)	2	八ツ山小学校	0
高茶屋小学校	4	八ツ山公民館	1
南郊中学校	5	白山体育館	0
高茶屋市民センター	5	竹原地域住民センター	0
三重県立津高等技術学校	0	竹原コミュニティ防災センター	0
雲出出張所	0	竹原多目的集会所	0
雲出小学校	2	美杉竹原体育館	0
雲出市民センター	1	美杉総合文化センター	1
雲出市民館	2	美杉中学校	0
殿木集会所	0	太郎生多目的集会所	0

津市雲出地区防災コミュニティセンター	0	(旧) 太郎生小学校	0
久居体育館	1	伊勢地地域住民センター	0
立成小学校	2	伊勢地多目的集会所	0
成美小学校	6	美杉伊勢地体育館	0
北口文化会館デイサービスセンター	0	八幡地域住民センター	1
久居東中学校	3	八幡生活改善センター	1
桃園小学校	2	美杉高齢者婦人センター 「しゃくなげ会館」	0
久居公民館	3	美杉高齢者生活福祉センター	0
三重県立久居農林高等学校体育館	2	美杉小学校	1
久居中学校	2	多気地域住民センター	0
三重県立久居高等学校体育館	0	丹生俣多目的集会所	0
栗葉小学校	2	美杉多気体育館	0
久居西中学校	2	下之川地域住民センター	0
榊原小学校	3	下之川生活改善センター	0
誠之小学校	3	美杉下之川体育館	0

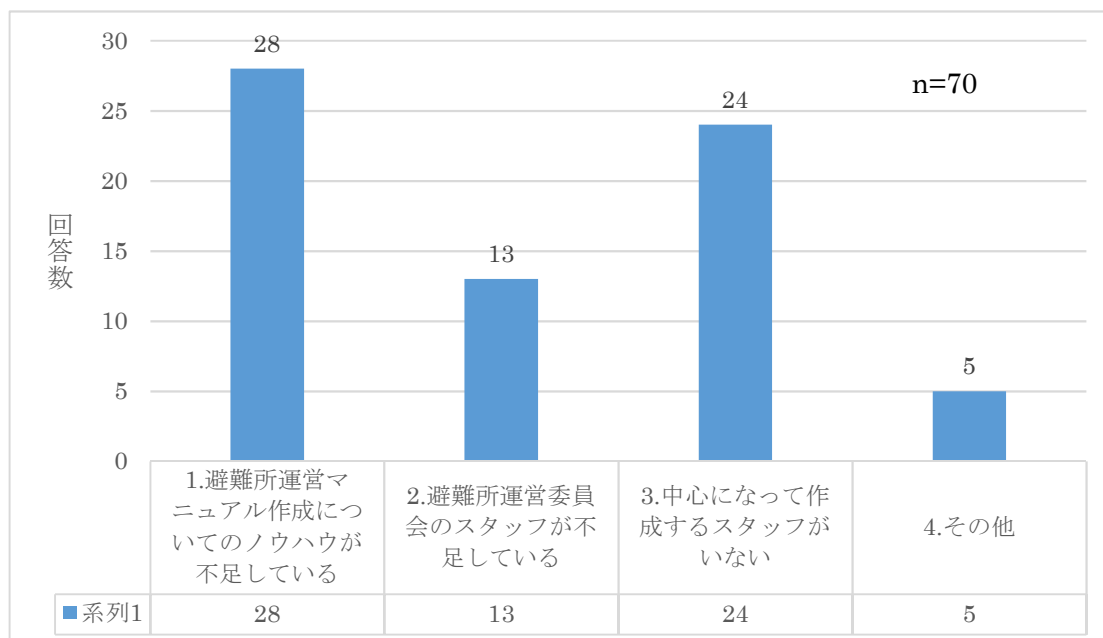
(5) 貴自主防災会から避難所運営委員会に参画する構成の中に女性は含まれていますか。※この設問は平常時の避難所運営委員会の構成員についてお聞きしています。



(6) 貴自主防災会が組織する（参画する）避難所運営委員会では避難所運営マニュアルが策定されていますか。
 ※避難所運営マニュアルとは、平常時から避難所運営の役割を決め、災害時には避難所の運営を円滑にするためのマニュアルです。



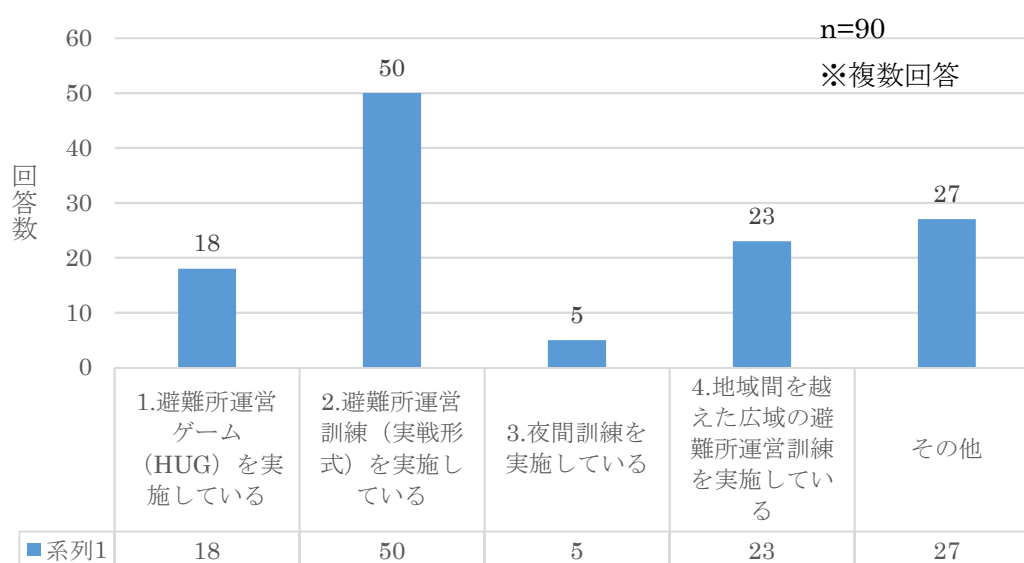
(7) (6)で「3.未策定」と回答した方にお伺いします。
「未策定」の理由として該当するものを1つ選択してください。



〈その他〉※その他については、一部抜粋して掲載しています。

- ・ 自主防災組織が形骸化している

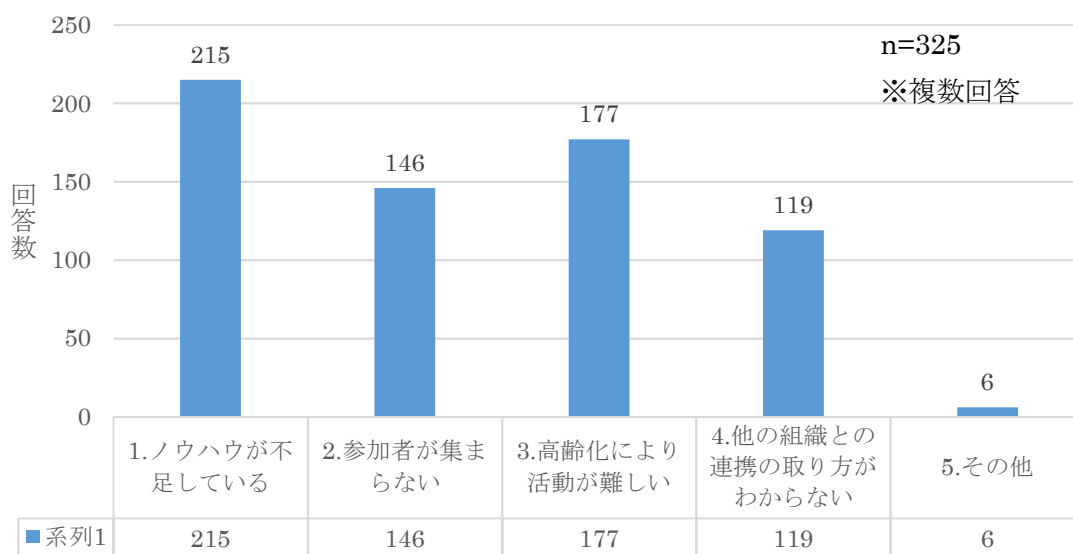
(8) 避難所運営委員会の活動の中で、取組んでいる事例、参考となる事例等がありましたら、該当するものを全て選択してください。



〈その他〉 ※その他については、一部抜粋して掲載しています。

- ・ 他県の防災センター視察、救命救急訓練を実施
- ・ 自治会連合会で他自治会と合同の防災訓練を実施している。
- ・ 炊き出し実践
- ・ 自主防災会体制表の作成

(9) (2)で「2.いいえ」と答えた理由について、該当するものを全て選択してください。



〈その他〉 ※その他については、一部抜粋して掲載しています。

- ・ 過去の担当者より情報の引き継ぎがない。
- ・ 地区自主防災用議会の活動に全面的に参加しているから
- ・ 役員、会員が毎年代わる
- ・ 退職していない世帯に役割を当てているため現実性に欠ける
- ・ 設定されている避難所を利用するエリアは、当自主防災会以外の地区があるので、単独で組織ができない。
- ・ 自治会活動に対する意識低下や雇用形態等が変革する中、新たな活動に対する理解が得られない。
- ・ しなければならないという意識がない。
- ・ 新型コロナ感染拡大により組織化が進んでいない。
- ・ 災害の現実感が乏しい
- ・ 取りあえずの必要性を感じない。又、そのように思っている人が多い
- ・ 現在検討中のため

○課題

避難所運営委員会の組織構成、役割等についての認知度や、女性構成員の登用率、避難所運営マニュアルの策定率など取り組みについてはいずれも低い割合となっている。

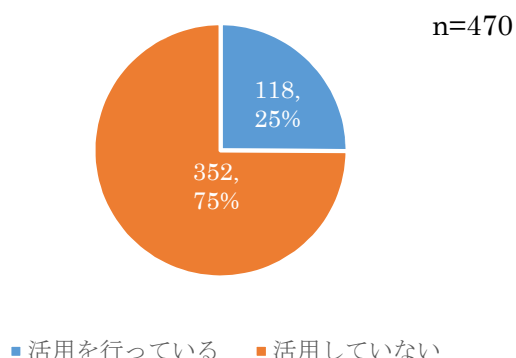
○検討

課題が多くみられるが、指定避難所においては、避難所運営委員会の設置が、172か所中94か所であり、おおよそ55%設置されていることが確認できたため、既存の避難所運営委員会に対しては、避難所の運営に女性の視点を生かすため、「女性を加える重要性」について周知することや、マニュアルが未策定の団体には、マニュアル作成に係るノウハウ等についての支援など行うとともに、避難所運営委員会未設置の指定避難所周辺の自主防災会に対して避難所運営委員会の設置への推進を図る。

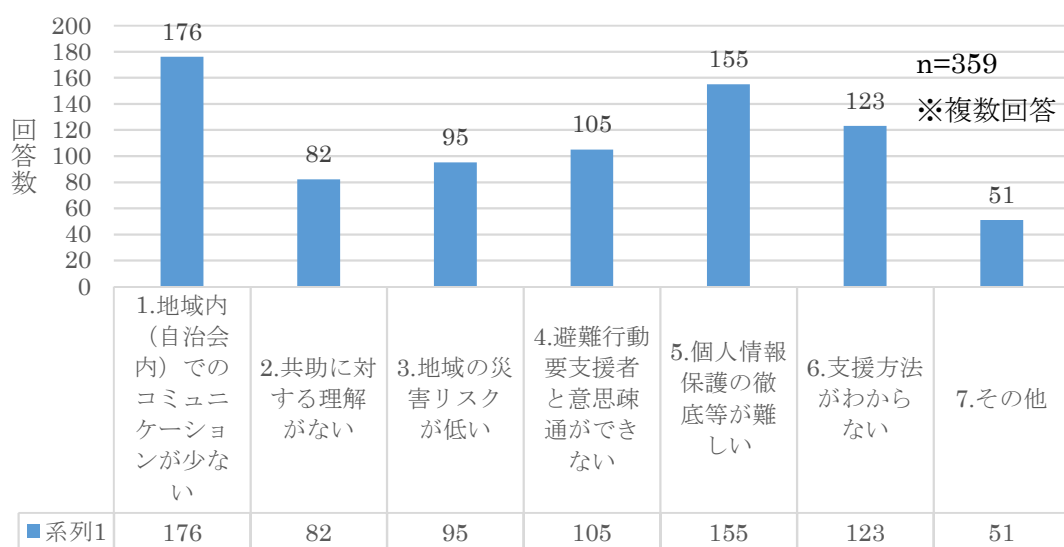
4 自主防災会（自治会）における避難行動要支援者への避難支援の実施に伴う支援方法の書面化について

津市では例年、各自治会または自主防災会に避難行動要支援者名簿の提供を行っています。さて、名簿に掲載する避難行動要支援者への支援方法について、各自主防災会（自治会）で「津市避難行動要支援者マニュアル」を参考に実施していただいているなかで、お伺いします。

(1) 貴自主防災会（自治会）では、避難行動要支援者の支援方法に関し、「津市避難行動要支援者マニュアル」にある避難行動要支援者避難支援活用シートを活用していますか。または、身体状況や緊急連絡先、支援者、避難所などの聞き取り内容の書面化を行っていますか。



(2) (1)で「2. 活用していない（行っていない）」と回答した方へお伺いします。「行っていない」理由は何ですか。（該当するものをすべて選択してください）



〈その他〉 ※その他については、一部抜粋して掲載しています。

- ・意思疎通が取れており、活用の必要がない
- ・会長、自治会長等には任期があり、うまく引継ができない。
- ・マニュアルの存在を知らなかった。
- ・自主防災会が実際に支援できるかどうか分からない
- ・自治会の各組長に任せている。
- ・電話も地図もなく要支援の3だけでは身障の判別も分からないし、家に伺っても出てくれない人が多いので困っている。
- ・高齢化しており、共助意識があっても、ほとんどの人が他人どころではないとなる。
- ・高齢化が進み、動ける若い人が少ない。
- ・会長だけが情報を知っている。
- ・毎年、自治会役員が交代するので引継ぎがうまくいっていない。
- ・避難行動要支援者避難支援活用シートが何か分からない。
- ・災害時に支援を行う余裕がない。
- ・支援方法の書面化で誰が担当するかを決めるのは困難と感じる。
- ・支援者になってもらえる人がいない。責任がもてない。
- ・要支援者が少なく状況把握しており、適正な安否確認を行える。
- ・個人情報なので、どうしたらよいか分からない。
- ・要支援者の状況がつかめていない。

○課題

「津市避難行動要支援者マニュアル」に掲載している避難行動要支援者避難支援活用シートの活用率が全体の4分の1と少ないものの、活用していない理由が、シート自体が認識されていない状況ではなく、活用の必要性を検討した上で難しいと判断されている理由が大半を占めている状況にある。その理由について、支援方法や責任などの考え方が活用の妨げになっている部分が多い。

○検討

避難行動要支援者名簿に関わる支援関係者としての立場や責任などの考え方を総会などの機会などを活用し説明することで理解を深めていただき、シートの様式内容についても支援関係者にとってよりわかりやすく活用しやすい内容であることが望ましいと考えるため、避難行動要支援者マニュアルに関わる説明や内容の改善に取り組んでいく。

5 自主防災会で取り組んでいる事例、他の自主防災会の参考となる事例がありましたら、簡潔に御記入ください。（自由記載）

自主防災会で取り組んでいる事例等の主な分類

防災訓練	25件	資機材、物資等	9件
防災研修会	9件	避難行動要支援者	2件
自主防災会の運営・計画	8件	その他防災活動	6件

自主防災会が取り組んでいる事例等については、全体で59件の記載がありました。※ご意見・要望等も併せて記載しています。

以下は、参考となる事例等を項目ごとに抜粋して掲載しています。

防災訓練
<ul style="list-style-type: none"> ・ 所属地区では、地区自主防災協議会長を中心として、会議、研修会、訓練がよく実施されている。地区防災の組織がよく運営されており役員さんたちが活発である。 ・ 毎年度、自主防災計画を策定して消防署に提出の上、9月に安否確認訓練、11月に放水訓練、2月に避難訓練を実施している。 ・ 高齢化が進む中で、災害発生時に、避難行動を頭ではなく、体で覚えるために避難訓練が重要であると考えています。小さい自治会ですが、できる限り毎年訓練したい。 ・ 地域住民にもっと防災意識を持っていただきたく活動が一番大事だと考えています。本年2月に地震体験車をもって震災の疑似体験をしていただき、防災訓練を行いました。結果は、参加者が非常に少なく、住民の防災意識の低さを感じさせられました。しかし、参加者に書いていただいたアンケート結果を見ますと、非常に良かった、良かったとの回答が全てで悪かったというアンケートはありませんでした。来年度も地震体験車を使った震災の疑似体験訓練、マンホールトイレの設置訓練を行いたいと考えます。 ・ 避難所運営マニュアルも一応作成されているものの、各自治会の自主防災会組織の避難所運営に対する取組みにはバラツキが大きく、又、運営委員長のスキル、リーダーシップ力にも問題があり、発災時に実践できるのか課題がある。担当する班の役割をはたすべく、勉強会の実施及び小学校体育館での担当班防災訓練を実施しています。 ・ 各種災害に応じた避難ルートを策定し、避難訓練に際しては想定事例に応じたルートを実践している。

防災研修会
<ul style="list-style-type: none"> ・ 和歌山防災センターの視察に35名参加。 ・ 春に自主防災会員を対象とした研修会を実施し、秋に団地全住民を対象とした避難訓練を実施している。 ・ 独自で取り組むにはマンパワー不足のため、他地区の研修会や訓練に参加しノウハウを習得している。 ・ 自治会組織において防災意識の高まりを少しでも醸成したいと思い、総会において防災講習会を開催し、地域で取り組みを強化したいと今年より始めました。参加者は一様に気付きを得て、防災対策を個々の家庭で取り組み始めたと思われる。
自主防災会の運営・計画
<ul style="list-style-type: none"> ・ 大災害が発生したことを想定して地域住民の行動をアドバイス。分散避難。安否確認は民生委員、班長が行い対応する。自宅耐震化を奨励しているので自宅避難が最優先。自宅損傷で危険な状況であれば、直ちに一時避難に域、防災リーダーの指示に従う。 ・ 世帯台帳の作成。「安否確認、避難誘導」、「救出/救護」組織の明文化等 ・ 安否確認において各組3軒を1組として両隣同士で声掛けを行うことに取り組み、素早い情報交換入手に取り組んでいる。
資機材、物資等について
<ul style="list-style-type: none"> ・ 地区で防災講演会に参加して、参加者から、トレインジャーを買って各家庭に配布してほしいと要望があり、自治会で購入して各家庭にットレインジャーを家族人数により（5～10枚）配布した。 ・ 消火器等の整備を自治会の役員が定期的に毎年実施している。初期消火訓練を行い、役員のリーダーが実施することを勧めている。毎年、自主防災会の役割の周知と防災活動の訓練を実施している。 ・ 防災コミュニティセンターを基地局に各自治会と災害時に連絡をとれる無線機の設定を進めている。
避難行動要支援者について
<ul style="list-style-type: none"> ・ 独自の組織対応で「安否確認・避難支援シート」を当組織会員より提出（提出率97.3%）。避難支援者対策会議で避難支援者支援対策を策定し、個別に避難支援者対策カードを作成した。組別避難訓練を実施し、特に要支援者対応を確認しながら訓練を行った。令和4年度、組別避難訓練、参加者数延べ141人（住民数 約1,000人）参加会員数113世帯（会員世帯数260世帯）。又、組別避難訓練時には、防災資機材の内、車椅子及び車椅子補助機を使用して、要支援者の避難訓練を行った。 ・ 避難行動要支援者本人、もしくは家族とは月1～2回必ず面談している。

その他防災活動

- ・ 防災倉庫に保存水や備蓄食が保管されていることを周知することや、「キキクル」等を見てもらおうように呼び掛けている。
- ・ 防災委員が高齢化などで人員不足の方向へ向かうのを補う意味で、訓練・有事などに対応するため、自治会独自に「人材バンク登録」を募集したところ、14名の参加を得ることが出来ました。
- ・ これまで組長が班長ということで組織の運営にあたっていました。高年齢又独居の方も増えてきているので、令和5年度より各班に支援協力員という形で若い方を入れました。女性の意見も聞きたく各班に1名を入れ（4名）、全体の意見を集約できるようにしています。又、現職の看護師も入ってもらい、防災用具・用品で男性では気づかない物の導入を考えています。

意見・要望

- ・ 避難訓練の実施を考えている。具体体的なやり方についてノウハウがあれば教えてください。
- ・ 政と地区自治会有事での考え方の共有ができていない。災害時の行動はボトムアップの積み重ね。ハード面での支援が必要だと思う。
- ・ 避難所となると思います。学校や公民館の敷地の一角に井戸を設置しておけば、災害時に使用できるのではないかと。
- ・ 今回のアンケートで、はじめて「運営委員会」という組織を設ける必要があることを知りました。
当自治会のように1～2年で自治会役員が交代する状況では「マニュアルに書いてあるからやってください」では進まないと思います。市で防災会に対する研修会を開催するなど、周知いただくことが必要と思います。
- ・ 当自治会では、コロナで3年間活動停止、自主防災の活動ができていない。又、自治会長も2年で変わり、現況自治会長選任が困難な現実です。今回始めて避難所運営委員会なる組織を知り、今まで又今後どのように進めていくか聞きたいです。
- ・ 自主防災に対することについての専門の方の公演を行って町民の方に防災の取り組みについて教えていただく機会を設けて頂きたい